

太陽光発電で駐車場を有効活用 「ソーラーパーキングステーション」

株式会社ONE TO ONE TEL : 03-5298-2655 <http://one-t.jp/parkingsolarsharing/paking.html>

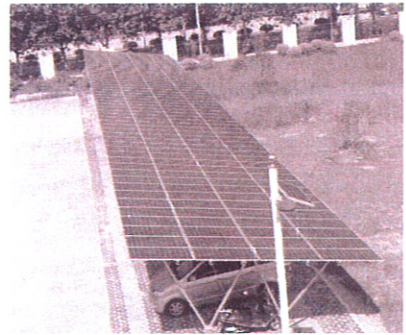
株式会社ONE TO ONEが開発、販売している『ソーラーパーキングステーション』は、いわば“駐車場一体型の太陽光発電所”である。発電した電気は、再生可能エネルギーの全量買取制度を使用して、電力会社へ20年間にわたって売ることが可能だ。売電価格は税込みで34.56円/kWhで固定。地域や気候などによって異なるが、ONE TO ONEのシミュレーション(※)では、年間の売電収入は税込みで63万円超。これは駐車場料金の収入とはあくまでも別だ。さらに、太陽光発電など再生可能エネルギーの普及を推進するために設けられたグリーン投資減税の対象となる点も見逃せない。

ちなみに、グリーン投資減税は、省エネルギー性能に優れた機器や設備などを導入する際に要した費用について、そのうちの一定額を特別償却や税額控除するもの。これを活用すれば、導入費用の一部を節税という形で回収できる。税制上のメリットに加えて、災害時には予備電源として利用することにも期待できる。

減税や電力会社への売電契約など専門的な事柄も絡むだけに、不明点は気軽に問い合わせをしてほしいとのこと。現在は太陽光発電で生まれた電力は売電するスキームだが、将来的には電気自動車への充電にまわすシステムづくりも視野に入れているそうだ。

「ソーラーパーキングステーション」の特徴

環境	アスファルト、コンクリート、砂利石、普通の地面でも設置は可能
サイズ	推奨している高さは地面からソーラーパネルの最も高い場所まで約3m、支柱の間隔は最長で6m(1台間隔でも支柱の設置は可能で、その際は幅3mが目安)
工期 (165kWシステムの場合)	基礎工事に約1週間、架台組み・ソーラーパネル設置に約2~3日で、トータル10日間ほどが目安
メンテナンス保証など	ソーラーパネルは基本的にメンテナンスフリーでメーカーが25年保証。発電設備はメーカーが20年間保証。パワーコンディショナー、接続箱、ケーブルなどの発電周辺機器および、支柱などの素材保証は10年間。災害発生時の対策としては、動産総合保険を適用



発電量は駐車場の規模によって、16.5kW、20kW、50kWなどのオプションがある。この写真は50kWの施工例

※ソーラー設置幅約21m 傾斜角度10°高さ3m 車両2台スペース架台柱間隔5m(2013年現在、千葉県浦安市のケース)